

10月も後半に入り、朝夕は身を切るような寒さを感じる季節となりました。ついこの間までの残暑が嘘のようです。これから一気に冬へと向かうのでしょうか。今年の冬は大雪の予報も出ていますが、できれば「適量」の降雪に留まってくれることを願うばかりです。

さて、寒さが厳しくなると暖房が欠かせません。我が家のリビングでは、主暖房として薪ストーブが活躍します。やはり、直火がもたらす暖かさは格別です。炎の揺らめきを眺めること、そしてパチパチと木が燃える音を聞いていると、不思議と心が落ち着きます。

しかし、こんな時間を過ごすためには、ストーブシーズンを迎える前から準備が欠かせません。あまり早い時期から薪を使い始めると、真冬にストックが尽きてしまうのではないかと心配になります。薪ストーブを楽しむための準備、それは「薪の確保」と「安全の確保」です。本来ならシーズンオフに、遅くとも今頃から次の冬に備えて薪を用意したいところです。私は原木を調達し、それを自ら割り、雨を避けた棚で自然乾燥させています。一説には二年以上の乾燥が必要とも言われますが、なかなかそう都合良くはいかないのが実情です。

そして、もう一つ重要なのが、本体と煙突のメンテナンスや掃除です。安全にストーブを使うためには、これらを怠ることはできません。こちらは専門家のお力を借りています。

余談ですが、震災が発生した際にも薪ストーブを焚いていました。激しい揺れの中、煌々と燃える火をそのままにして避難する際、「このまま家が燃えてしまうのか」という思いが頭をよぎりながら外へ出たことを鮮明に覚えています。後日点検してもらった結果、幸い致命的なダメージはありませんでした。

これから本格的に冬を迎え、寒さはさらに厳しさを増し、夜の時間が長くなります。自宅で過ごす時間も多くなるこの季節、火を楽しみながら過ごして参ります。